

下田小学校の取り組み

令和6年度 四万十市立下田小学校

1. 校内研修の軌跡

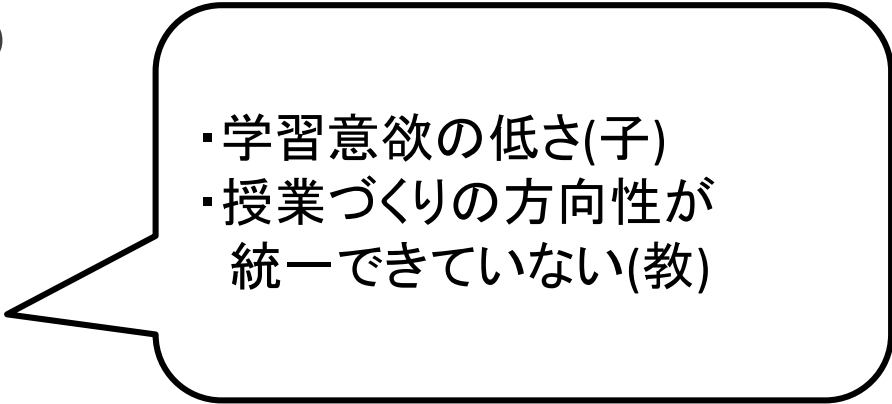
(1) 前年度の成果と課題

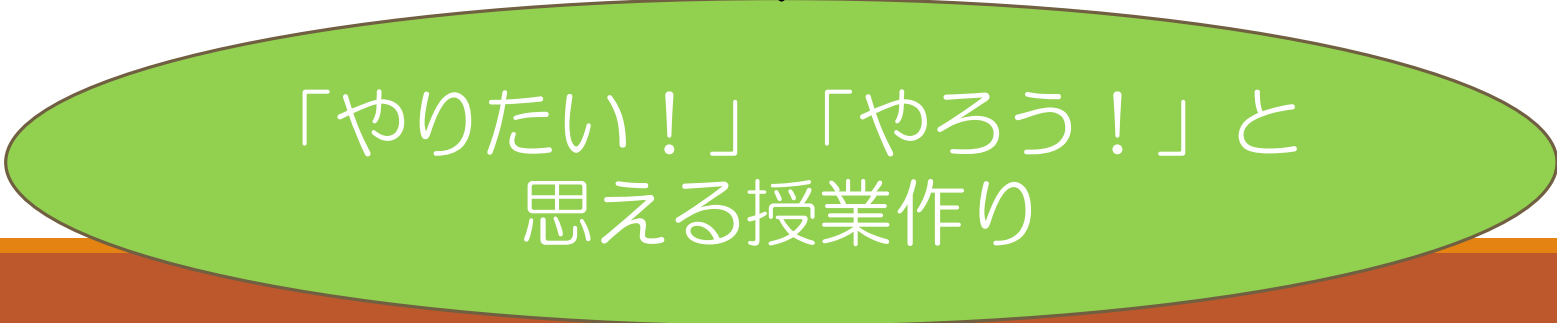
成果

- ・見通しの充実
- ・自分達で作るめあてとまとめ

課題

- ・基礎基本の定着
- ・記述問題

- 
- ・学習意欲の低さ(子)
 - ・授業づくりの方向性が統一できていない(教)



「やりたい!」「やろう!」と
思える授業作り



1. 校内研修の軌跡

(2) 研究主題の設定

「自ら課題を追求し、主体的に学ぶ子どもの育成」
～伝え合い、学び合い、深め合う算数科の授業作りを目指して～

1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み

①研究主題の具体化

生活をふり返って
課題を見つける

既習と未習をずれ
を見付けて考える

見方・考え方を
はたらかせて

自分の考えをもつ

「自ら課題を追求し、主体的に学ぶ子どもの育成」

もっと学びたいこと
を表現できる

見通しをもつ
て学習する

1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み

②授業づくりの視点の設定

○問いをつかみ、その解決に向かっているか。

○見方・考え方をはたらかせているか。

○実生活や他の教科と関連付けて考えているか。

1. 校内研修の軌跡

(3) 今年度の取り組み

④ 全国学力テストの分析



1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み



④全国学力テストの分析

課題

算数

- ・式と計算の意味理解
- ・見方・考え方(図形やグラフ)

1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み

④全国学力テストの分析を受けて取り組むこと(算数)

学年	取り組み
低学年	・絵を見てお話したり、実物やブロック、タイル、数カードを用いて、量的質感を育てる。 ・ブロックやタイル、数カードや言葉など、多くの表現方法を用いて、式を考えさせる。 ・生活の中で、時計を見る習慣をつけ、時間を意識させる。
中学年	・実物やブロック、タイル、数カードを用いて、量的質感を育てる。 ・ブロックやタイル、数カードや式、言葉など、多くの表現方法を用いて、式の意味、計算の意味を考えさせる。 ・どこに着目するか見つけさせ、その見方のよさは何かはっきりさせる(めあてに見方・考え方を入れる)。 ・生活の中で、「〇分前(後)は何時何分?」「〇時〇分まで何分?」と聞き、時刻と時間で学習したことをいかにせるようにする。
高学年	・図形問題に多く触れる機会を持ち、ICTの活用や実物を操作することでこれまで学習してきた公式の意味を確認させていく。 ・数学的表現力の育成のために、絵や図、数直線、線分図等を用いながら説明し、さらに自分の考えだけでなく友達の考え方を説明することが出来るようにする。 ・割合の学習では、数値が分数や小数になっても戸惑わないように全体量と割合の関係をはっきりさせることができるよう、印を付けさせたり、図で表したりしながら理解を確かなものにしていける。 ・生活の中で割合や比例に関する場面を用いる。目標が守れた人の割合や家庭科の材料の計算や買い物場面など、活用する場面を作る。
全体で	○具体物・半具体物を効果的に活用して、問題・式・式の意味をつなげて考えられるようにする。 ○資質・能力ベースのめあてとまとめの研究 ・見方・考え方を発見、獲得させ、よさを実感させるとともに、活用させる

1. 校内研修の軌跡

(3) 今年度の取り組み

⑥ 研究授業(1・2年算数)



1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み

⑥研究授業(1・2年算数)

全校で取り組むこと

○見通しをより充実させる

これまでと同じところ・違うところ

どうやったら解決できるか

だいたいどれくらいになるか(見当)



1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み

⑥研究授業(1・2年算数)

全校で取り組むこと

○個別最適化

ツール(教材・教具)	表現方法	学習形態	その他
・ノート ・クロームブック ・ホワイトボード ・ワークシート ・ヒントカード	・具体物の操作 ・観察 ・図 ・数 ・式 ・表 ・グラフ	・一人で ・ペアで (形式・内容・ランダム) ・みんなで	・ふりかえり ①～⑤の視点
個人で意思決定		集団で意思決定	個人・集団で意思決定

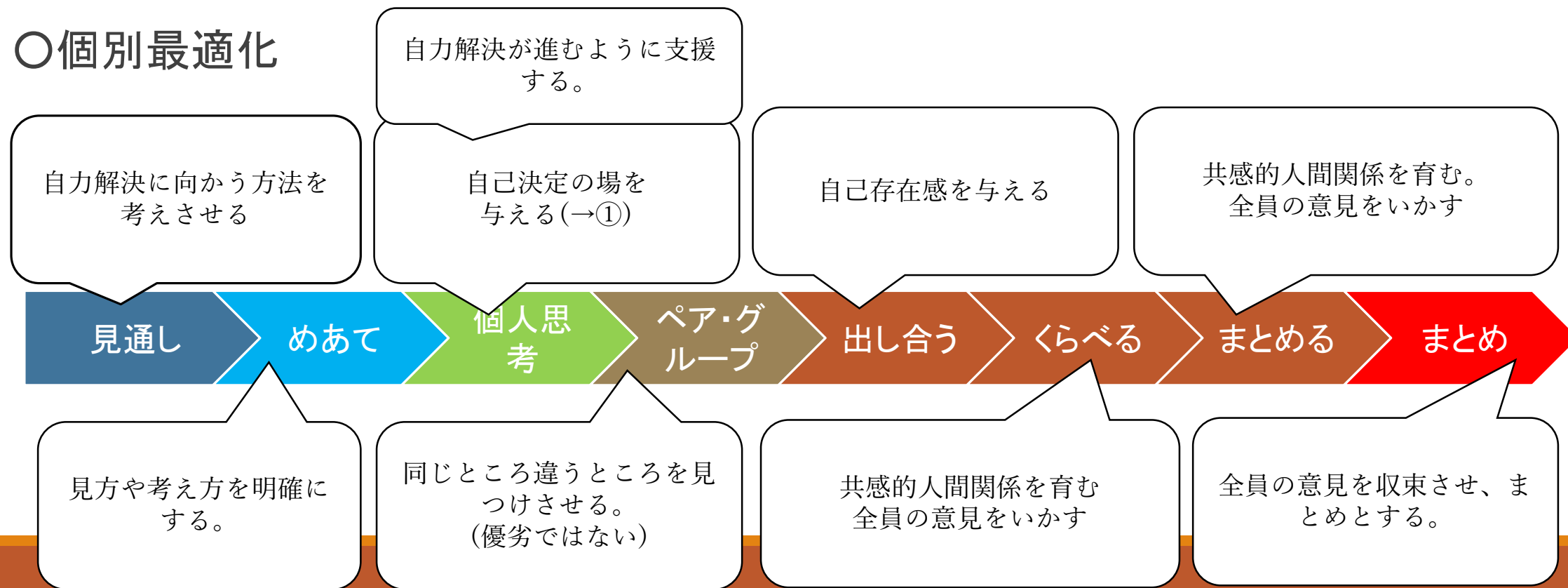
1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み

⑥研究授業(1・2年算数)

全校で取り組むこと

○個別最適化



1. 校内研修の軌跡

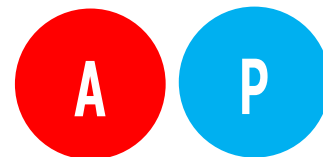
(3) 今年度の取り組み

⑦ 研究授業(3・4年算数)



1. 校内研修の軌跡

(3)今年度の取り組み



やってみたい。考えてみたい。

見方・考え方を使って(無)
大体これくらいになるぞ

見方・考え方を使って
今日学習するのは～

日常生活や社会の事象・数学の事象

数学的に表現した問題

焦点化した問題

考えさせたいことにつながる問題場面を設定する。

直感的な考えを大切にし、見当を付けさせたり、解決方法を考えたりする。
対話の中から本時で働かせるべき見方考え方を取り上げる。

既習と未習を整理し、何が未習なのかを明確にする。

⑦研究授業(3・4年算数)

全校で取り組むこと

○子どもとともに文脈を生起する

【中・高学年】見通しで、子どもが考えたいと思うものを話し合えるようにする。

【低学年】見通しで、話し合う視点を提示し、子どもたちで話し合えるようにする。

(授業者が支援しながら子どもたちだけで話し合えるようにする。)

1. 校内研修の軌跡

(3) 今年度の取り組み

D

⑧授業外での取り組み 読書タイム

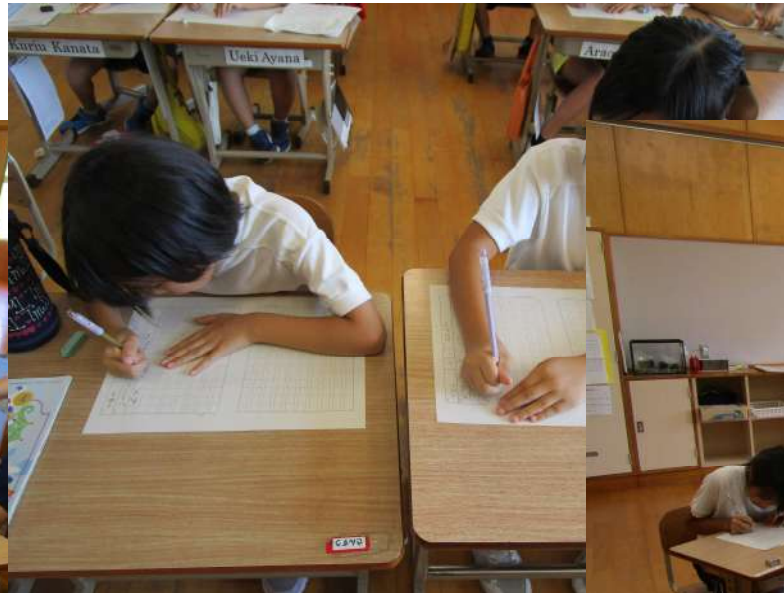


1. 校内研修の軌跡

(3) 今年度の取り組み

D

⑧授業外での取り組み チャレンジタイム

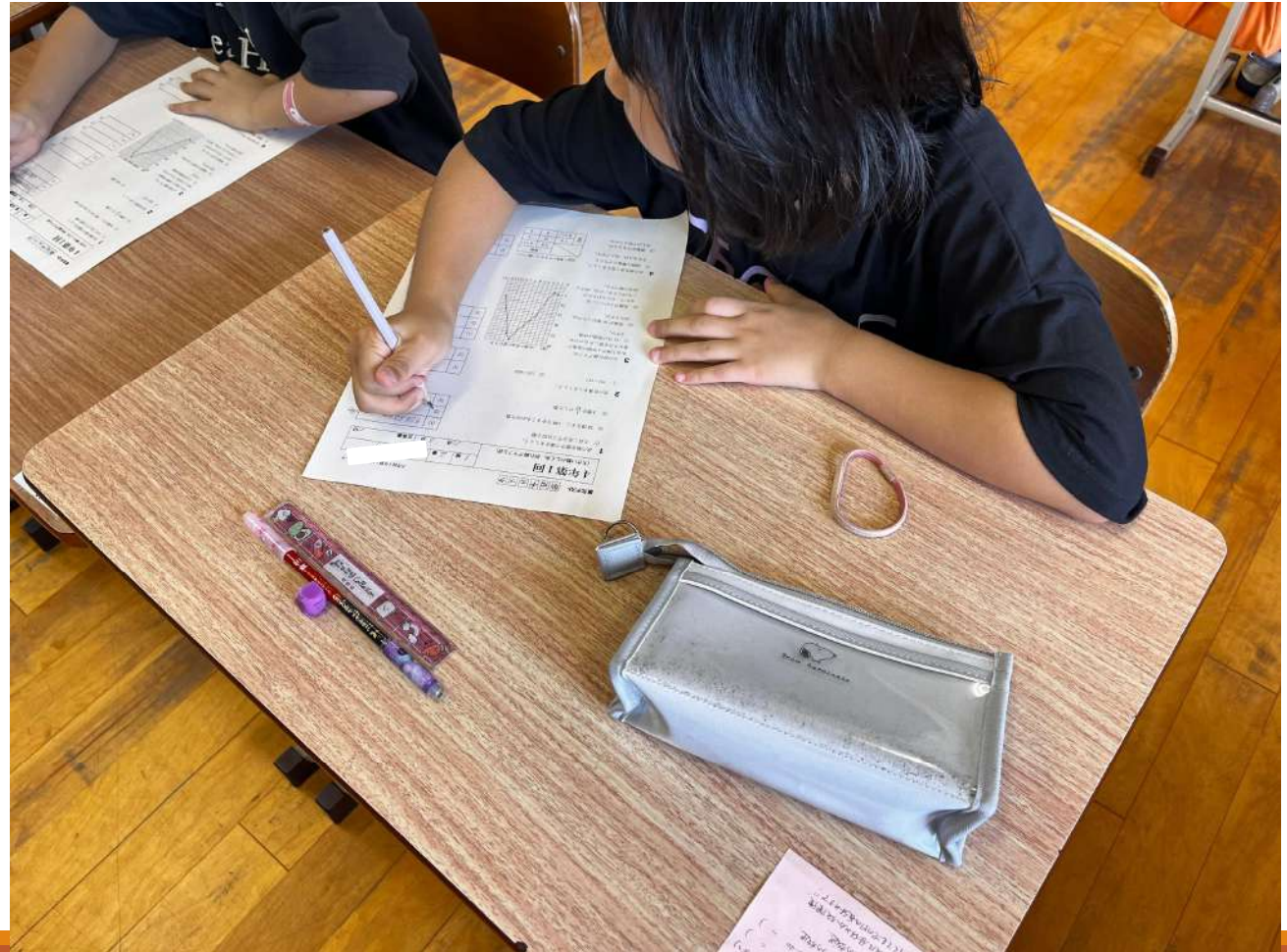


1. 校内研修の軌跡

(3) 今年度の取り組み

D

⑧授業外での取り組み 校内到達度テスト



1. 校内研修の軌跡

(3) 今年度の取り組み

⑧授業外での取り組み のびタイム



2. 終わりに

成果(主に授業づくりについて)

- ・指導の内容や方法の方向性の確認
- ・自ら問いをもち、学習を進めていく姿

課題(主に授業づくりについて)

- ・学力、学習意欲の低さ
- ・教育DXへの対応

2. 終わりに

方策(主に授業づくりについて)

- 1時間(45分)で力を付けきる授業の展開
 - 付けたい力の確認(学習指導要領をもとに)
 - ICTを活用しながら個別最適な学びを進める。
 - 生活と学習との関連(学習することの意味を実感させる)
- 取り組みの検証、改善